

研修会報告 仙台大学の施設見学および学生のサポートについて

李 宇諤 (法学部准教授)

1月22日(水)、東北のスポーツ強豪と言われ、現在も日本の大学スポーツ界を支え、実技と理論を充実し、アスリートや学生をサポートしている仙台大学を視察した。

平成24年に創立45周年を迎えられた仙台大学は、仙台駅から電車で30分ほどの位置にあり、体育学部(体育学科、健康福祉

学科、運動栄養学科、スポーツ情報マスメディア学科、現代武道学科)の1学部5学科で構成されている体育大学である。そして、トップアスリートや生涯スポーツ、障害者スポーツなどすべての人を対象としてスポーツを科学的探索する「スポーツ・フォア・オール」が基本理念である。

様々な施設の中、トレーニングセンター・ヒューマンカロリーメーター(第3体育館1階)が印象的であった。トレーニングセンターは、アスリートの競技力向上のための施設、学生のフィットネスのための施設、卒業後のフィットネスセンターへ就職する学生のための施設、体重コントロールができる施設(体重減量種目)の目的で運営されている。

また、同じ階にあるヒューマンカロリーメーターは、日本では4番目となるエネルギー代謝測定システム(2005年3月に設置)温度・湿度・気圧を一定に保った高密度の室内(チャンバー)に、ベッドやトイレ、テレビなどの日常生活が可能な構成を備え、被験者が直接測定機器を装着せずに、室内の酸素摂取量と二酸化炭素の排出量からエネルギー消費量などを測定する。これまでの測定が難しかった日常生活の中での身体活動でのエネルギー代謝、基礎代謝について調べることができる施設である。



ウェイトトレーニング器具



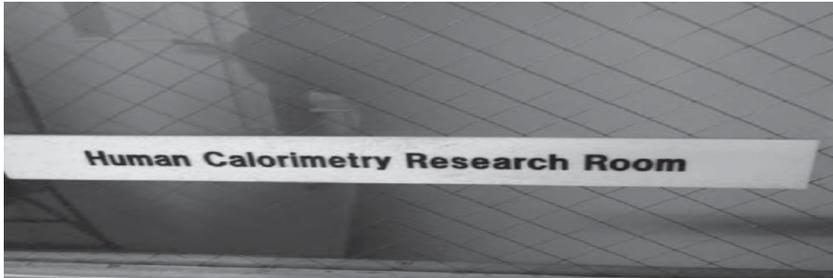
フィットネス器具



有酸素トレーニング室



栄養管理システム(学食)



ヒューマンカロリメータ室



エネルギー代謝測定システム内部



エネルギー代謝測定システム



震災復興記念プール

